

御開祖聖人五十八回忌辰 報恩会大法要次第書

【期日】令和8年10月9日(金)午後より11日(日)夕刻迄

(案)

第1日 ・ 10月9日(金)

第1部 開扉法要(14:30～16:30)

1. 喚鐘(60分前)、音楽放送、法要開始案内(30分前)。
2. 司会者より次第の発表、一同起立、開扉の歌にて開扉。
一同着座、法要委員長挨拶。
3. 奏楽、御導師及び内陣僧の出仕、伽陀(先請彌陀等)、三礼文、
御導師敬白文拝読、経鑿(正調)、大経上巻前半拝読(音木入り)、
念讃ユリ三ツ、和讃(尊者阿難等)、
トビ三首、電文御披露、廻向文(願以此功德等)、奏楽、御導師
及び内陣僧の退出、御文章(3の11通 毎年不闕章)、奏楽、
衆僧の退出、小憩。
4. 講話2回 前講 本講 御親教
5. 司会者終了の詞と予告、奏楽閉扉、休憩。
【調声人】 御導師 殿
【装束】 有資格者 第二種甲号、他は第一種甲号

第2部 御初夜法要(19:30～21:30)

1. 喚鐘(60分前)、音楽放送、法要開始案内(30分前)。
2. 司会者より次第の発表、奏楽にて開扉。
3. 奏楽、内陣僧の出仕、三帰依文、経鑿(平調)、大経後半拝読
(音木入り)、念讃ユリ三ツ、和讃(無碍光佛等)、トビ三首、
廻向文(世尊我一心等)、奏楽、内陣僧の退出、御文章
(2の11通 五重の義章)、奏楽、衆僧の退出、小憩。
4. 講話2回。 前講 本講 管長殿
5. 司会者終了の詞と予告、奏楽閉扉、散会。
【調声人】 住職 殿
【装束】 有資格者 第二種甲号、他は第一種乙号

第2日 ・ 10月10日(日)

第1部 御晨朝法要(5:00～6:00)

1. 法中当番 班に依る(通常差定)。
【装束】調声人 第一種乙号、他は第一種丙号

第2部 御日中法要(9:30～11:30)

1. 喚鐘(60分前)、音楽放送、法要開始案内(30分前)。
2. 司会者より次第の発表、奏楽にて開扉。
3. 奏楽、内陣僧の出仕、伽陀(瓔珞経中等)、三帰依文、経鑿(平調)、
観経前半(音木入り)華座観まで、念讃ユリ三ツ和讃(阿闍世王等)次第三首、
廻向文(願似此功德等)、奏楽、内陣僧の退出、御文章(3の4通
大聖世尊章)、奏楽、衆僧の退出、小憩。
4. 講話2回。 前講 本講 管長殿
5. 司会者終了の詞と予告、奏楽閉扉、休憩。
【調声人】 住職 殿
【装束】 有資格者 第二種甲号、他は第一種甲号

第3部 御逮夜法要(14:30～16:30)

1. 喚鐘(60分前)、音楽放送、法要開始案内(30分前)。
2. 司会者より次第の発表、奏楽にて開扉。
3. 奏楽、内陣僧の出仕、三帰依文、経鑿(平調)、観経後半拝読、
(音木入り)念讃ユリ三ツ、和讃(弥陀釈迦等)、次第三首、
廻向文(世尊我一心等)、御文章(4の3通 法華念仏章)
奏楽、内陣僧の退出、衆僧の退出、小憩。
4. 講話2回。 前講 本講 御親教
5. 司会者終了の詞と予告、奏楽閉扉、休憩。
【調声人】 住職 殿
【装束】 有資格者 第二種甲号、他は第一種乙号

第4部 御初夜法要(19:30～23:00)

1. 喚鐘(60分前)、音楽放送、法要開始案内(30分前)。
2. 司会者より次第の発表、奏楽にて開扉。
3. 三帰依文、経鑿(二丁)、正信偈(訓読)、舌念仏(5分間)、廻向文(願似此功德等)訓読、奏楽、御伝絵の準備。
4. 上巻拝読()、下巻拝読()
講話1回。
5. 司会者第4部終了の詞と予告、奏楽閉扉、散会。
【調声人】
【装束】 拝読者 第二種甲号、他は第一種丙号

第3日 ・ 10月11日(日)

第1部 御晨朝法要(5:00～6:00)

1. 法中当番 班に依る(通常差定)。
【装束】調声人 第一種乙号、他は第一種丙号

第2部 御日中法要(9:30～11:30)

1. 喚鐘(60分前)、音楽放送、法要開始案内(30分前)。
2. 司会者より次第の発表、奏楽にて開扉。
3. 奏楽にて内陣僧の出仕、伽陀(萬行之中等)、三帰依文、経鑿(乱調)、小経拝読(音木入り)、ソエ勸衆偈、短念仏、三重念讚ユリ三ツ、和讚(十方微塵世界等)次第二首、廻向文(世尊我一心等)、奏楽にて内陣僧の退出、御文章(3の13通 夫レ當流門徒中章)、奏楽にて衆僧の退出、小憩。
4. 講話2回。 前講 本講 御親教
5. 司会者より終了の詞と予告、奏楽閉扉、休憩。
【調声人】 住職 殿
【装束】 有資格者 第二種甲号、他は第一種乙号

第3部 結願法要(14:00～16:00)

1. 《聖火行道》 集合13:40(祇舎苑)、廊下經由 入堂13:50
2. 喚鐘(60分前)、音楽放送、法要開始案内(30分前)。
司会者次第の発表、起立、開扉の歌にて開扉、着席、
3. 掛灯籠以外消灯、奏楽(越天楽)中に聖火入道、
御内陣莊嚴終了、全照明点灯。
献香(越天楽)【内陣僧・法中の順】奏楽停止、団体長挨拶、
一同起立、聖人追悼歌斉唱、一同着席、
奏楽、内陣僧出仕、伽陀(稽首天人等)、伽陀中 御導師登壇、
三礼文、御開祖聖人歎徳文拝読、
伽陀(直入彌陀等)、伽陀中 御導師降壇復席、
経鑿・大鑿(正調)、正信偈(真四句目)、
経中 献香【御連枝・参詣者】(香台片付け)、念讚ユリ三・五ツ、
4. 和讚(諸佛方便・真ノ知識・阿弥陀如来・等)三首、廻向文
(願似此功德等)奏楽、御導師及び内陣僧の退出、御文章
(3の9通 御命日章)、講話1回。
5. 持念仏中に聖火滅灯、法要副委員御礼の詞。
6. 一同起立、閉扉の歌にて閉扉、終了。
【調声人】 御導師 殿
【装束】 有資格者 第二種甲号、他は第一種甲号

第4部 慰労夕食会(17:30～)

令和8年 9 月 23 日